

平成 27 年度第 2 回広島県公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 平成 27 年 7 月 23 日 (木) 14:00～15:00
- 2 場 所 サテライトキャンパスひろしま 5 階 503 会議室 (広島市中区大手町一丁目 5-3)
- 3 出席委員 古賀委員長, 金安委員, 木原委員, 福田委員
- 4 議 題 平成 26 年度業務実績評価案について
- 5 担当部署 広島県環境県民局学事課大学管理グループ
電話 (082) 513-2752 (ダイヤルイン)

6 会議の内容

事務局から、配付資料により、業務実績評価 (案) の説明があった。

委員の意見に基づく業務実績評価 (案) の修正については、委員長に一任のうで調整を図ることが了承された。

【委員意見】

- 大学院定員充足率の改善について、この度の評価委員会での評価をもとに改善策を打ち出しても、それが反映されるのは再来年度 (平成 29 年度) 入学の入試要項からになり、タイムラグが生じてしまうが、大学は入試に係る改善策について即効的にできることは速やかにすべきである。
- 平成 26 年度から導入したイングリッシュトラック制 (秋入学制) について、初年度は応募が少なく入学許可者がいなかったとのことだが、募集の努力を結果に結実させる必要がある。
- 平成 27 年度から始まる全学共通教育や副専攻プログラムについて、その成果の評価にはまだ早いですが、良い評価につながるよう、また課題が見つければ早期の改善につなげるよう取り組んでもらいたい。
- 教員業務評価制度については、なるべく不公平感の生じない、モチベーションが下がらないような制度とする必要がある。この制度は組織評価 (大学評価) に係ってくるのと同時に個人評価 (個人の給与) にも係ってくるので、なるべく多くの人々が納得する制度を構築されたい。
- 大学運営・活動の自己評価については、定性的な評価も含まれているが、学内外への説明責任を果たす観点から、今後とも評価の客観性、透明性を向上させていく必要がある。

7 会議の資料名一覧

【配付資料】

資料 1 平成 26 事業年度公立大学法人県立広島大学業務の実績に関する評価結果 (案)

資料 1 (別冊) 小項目評価 (案)

参考資料 1 平成 26 年度業務の実績に関する報告書 (抄)

参考資料 2 平成 26 年度業務の実績に関する報告書附属資料